

令和8年度 市民活動助成金について

1. 審査方法について

○現状・課題

- ・欠席委員の評価ができず、当日の出席委員のみの評価となるため、促進委員全員の評価の上での審査ができていない。



○改善案

- ・全委員の評価を反映するため、新たに書類審査を設ける。(はじめの一步部門については大きな変更なし)
- ・書類審査により、書類作成のレベルアップを図ることができ、今後の資金獲得に活かせるものとする。

[絶対評価]

		案①	案②
(1) 書類審査	手法	事前に送付する提案書により審査 ※当日欠席委員には、併せて講評も依頼する。	事前に送付する提案書により審査 ※併せて質問事項をもらい、事前に団体へ通知する。
	審査方法	①各部門の評価項目（別表参照）により、各5点満点で審査 ②審査点の合計点から、得点率を算出	①各部門の評価項目（別表参照）により、各5点満点で審査 ②審査点の平均点を算出
(2) プレゼン審査	手法	①5分間でプレゼン ②5分間で質疑応答	①2分間で事業内容やアピールポイントを説明 ②8分間で事前質問を含め、質疑応答
	審査方法	①各部門の評価項目（別表参照）により、各5点満点で審査 ②審査点の合計点から、得点率を算出	①各部門の評価項目（別表参照）により、各5点満点で審査 ②審査点の平均点を算出
(3) 助成額決定	—	①書類審査・プレゼン審査の得点率の平均を算出 ②算出した得点率を乗数表に当てはめ、助成額を決定	①書類審査、プレゼン審査の平均点を合計し、総得点を算出 ②総得点を乗数表に当てはめ、助成額を決定

別表

部門	ひろげる部門	ふかめる部門
評価項目	・公益性 ・効果性 ・自立性 ・発展性 ・現実性	・課題性 ・有効性 ・自立性 ・発展性 ・現実性
審査点数	各委員 5点×5項目 合計 25点 合 計 25点×7名 合計 175点	

(例) 書類審査7名、当日出席委員5名の場合
(案①②共通)

	委員数	1人あたり持ち点	満点	団体得点(例)
(1) 書類審査	7名	25点	175点	150点
(2) プレゼン審査	5名	25点	125点	95点

・上記の「団体得点(例)」を各案に当てはめる。

	案①		案②	
	得点率	得点率の平均	平均点	平均点の合計
(1)書類審査	85.7%	80.9%	21.4点	40.4点
(2)プレゼン審査	76.0%		19.0点	
(3)助成額の決定	→乗数表に従い、 <u>100%</u>		→乗数表に従い、 <u>100%</u>	

[総合評価]

絶対評価を加味した上で、審査委員の合議制による総合評価を実施して、助成金の額を提示。審査委員の合議が成立しない場合は、採決によって決定する。

(審査スケジュール)

時 期	内 容
令和8年1月9日(金)	市民活動助成金事業提案書の提出期限
令和8年1月中～下旬	各委員へ提案書を送付 (メールまたは郵送)
令和8年2月6日(金)まで	書類審査・評価表の返送
令和8年2月中旬	企画提案発表会

2. 実績報告書について

(1) 報告書の文章量及び内容について

○現状・課題

- ・団体によっては文章量が少なく、団体がどんな活動を行い、どんな成果があったかなどの、活動の実績が見えてこない。
- ・実績報告書を団体自身が活動を振り返るものとして活用できていない団体もある。



○改善案

- ・実績報告書を振り返りや次年度に向けた課題等を検討するものとして活用してほしいことを明記する。
- ・文章例を含めた記載例を作成し、文章量を見える化するとともに、各項目に書いてほしい内容を記載しておく。

(文字数の目安)

項目	はじめの一步部門	ひろげる部門	ふかめる部門
事業の結果	300 文字以上	300 文字以上	500 文字以上
成果・効果	200 文字以上	200 文字以上	300 文字以上
今後の取組及び課題	100 文字以上	100 文字以上	200 文字以上

(2) 提出期限について

○現状・課題

- ・提出期限を3月上旬に設定しており、年度末までの短い時間で、全団体の実績報告書を審査している。
- ・提出期限が3月上旬でよいことから、早期に事業が完了した団体は提出までに時間が空いてしまうことで、領収書が整わない団体もある。



○改善案

- ・事業完了（支払いまで）後、1か月以内または2/28までを提出期限とする。
→提出期限を早期に設けることにより、時間に余裕をもった実績報告書の審査が可能となる。
- ・1か月以内または2/28に提出できない場合は市への事前連絡を必須とし、事前連絡がない場合は助成できないこととする。

(参考)

・ 1-案②関連 各務原市の審査方法

手法	内容	備考
事前審査	提案書類を事前に委員に送付し、疑問点があれば団体にフィードバックして回答をもらう。	・審査点はなし
プレゼン審査	委員1人につき、6項目×5点＝30点の持ち点 5名の委員により、審査を行う	・30点×5名＝150点満点
団体審査	1団体につき、1項目×2点＝2点の持ち点 当該団体を除く団体で審査を行う	・申請団体数により合計点は異なる ・R7参考：申請 6団体の場合、2点×5団体＝10点満点
決定方法	プレゼン審査と団体審査の合計点を満点とし、 60%を基準に、採択か不採択かを決定	・修正点を委員が指摘し、修正することを前提に点数をつけておく場合もある ・基準点は非公表 ・R7参考：150点+10点＝160点満点（基準点：96点）
決定通知	4月以降に決定通知。	・団体には獲得点数のみ提示

・ 2-(2) 関連 他市町村の事業期間及び提出期限

市町村名	事業期間	実績報告書の提出期限
小牧市	交付決定の日から令和8年3月31日まで	助成対象活動及び事業が完了したときは、1ヶ月以内（最終提出日：3月31日）に実績報告書等を提出していただき、その内容を審査し、助成金の額を確定する。
関市	ときめき：初動支援型 募集期間 令和7年4月1日（火）から令和8年3月31日（火）まで きらめき：市民提案型 募集期間 令和7年2月3日（月）から令和7年3月14日（金）まで いきいき：協働提案型 募集期間 令和7年2月3日（月）から令和7年2月28日（金）まで	助成事業が完了した日の1ヶ月後の日又は交付決定のあった年度の3月31日のいずれか早い日までに、書類を提出する。
尾張旭市	令和7年4月1日（火）～令和8年3月25日（水）	助成対象事業は、終了後速やかに報告。 最終提出期限：令和8年3月27日（金）。
江南市	補助金の交付の決定を受けた日から、当該交付の決定を受けた日の属する年度の3月31日までの期間	事業終了後速やかに、書類を提出する。 最終期限：
岩倉市	令和7年10月1日（水）～令和8年3月31日（火）	事業が完了したときは、完了等の日から起算して30日を経過した日又は当該年度の3月31日のいずれか早い日までに、速やかに実績報告書を提出する。